

11 現行同和教育手引き書「同和教育を進めるために」掲載の高等学校関係実践例

(長野県教育委員会 平成5年3月発行)

第2部 学校同和教育 第2章 学校同和教育の具体的方法

◇第1節 差別の現実に学ぶ (2)生徒たちの手で取り組みの輪が広がった P.41-43

(北信N高校生徒会同和教育推進委員会の創作劇など)

第2節 幼・保、小、中、高一貫した同和教育 3 中学校と高等学校の連携

◇ (1)(2)同和教育中高連絡協議会の意義・実践例 P.52-54

第3節 全教育活動における同和教育

2 教科における同和教育

◇ (4)“This is My Life”を書く(北信N高校通信制 自分史を英作文) P.62-64

(5)学力向上と同和教育

◇ イ 基礎学力の向上は生徒を変える(南信M高校のドリル) P.64-65

◇ ウ 自ら体験的に学ぶ P.65-66

(中信A高校 現代社会の学習からフィールドワーク部の活動へ)

3 日々の学校生活での同和教育

(1) 生徒指導と同和教育

◇ イ 全員の活動で学級づくり P.69-70

(南信F高校「手作り同和教育全校集会」でのクラスづくり)

◇ (2) 同和教育と平和教育 P.73-76

(北信H高校の広島への修学旅行一原爆投下と被差別部落の人々)

◇ (3) 同和教育と児童生徒の自主活動 P.79-81

ウ 生徒と職員が一体となった自主活動一S養護学校との体験交流

(4) 障害のある子どもたちとともに学ぶ

◇ エ 聾学校と高校生の交流 P.85-87

第3章 同和地区児童生徒の自覚と自立

◇第3節 「出身表明」 1 同和地区高校生の「出身表明」 P.112-114

第3部 社会同和教育 第3章 社会同和教育の学習活動

◇第4節 同和地区住民の学習 5 同和地区高校生等学級 P.212-214